指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

施設所管課	こども未来部　こども・若者政策課

施　設　名	東部つどいの広場
指定管理者	ほっこりひろばの会
指定期間	令和7年4月1日　～　令和12年3月31日
指定管理料	年額6，538，000円（令和7年度）　（総額34，690，000円）
設置目的	地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、親の子育てに関する不安感等を緩和するとともに、子どもが健やかに育つことに寄与するため。
業務内容	・子育て中の家族の交流の機会及び場所の提供 ・子育てに関する相談及び講座の実施 ・子育てに関する情報の提供 ・子育てに関する事業を行う者等との連携及び調整

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	利用者のニーズにあった事業展開をされ、利用者数は目標値より増加した。 利用者増となるよう事業の内容や手法を考察された結果、一定講座参加人数に反映されている点は評価できる。 収支状況について、計画的に執行し運営努力を行った結果、予算内に収まった。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	利用者数も安定し、各講座の参加者数も多く、設置目的を踏まえた運営が出来ていた。	B（良好）	地域の子育て支援施設としての設置目的にあった事業運営がされていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	事業計画書や、仕様書を上回る職員数配置ができた。賃金については公立保育園等に比べ低いものの最低基準は下回らないようにした。	B（良好）	事業計画書に沿った職員配置ができていた。出勤状況、勤務形態についても適正であった。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	毎月の研修、大津市の研修などに参加。個人研修に行くスタッフもいた。	B（良好）	事業計画書に基づき、業務に必要な研修が実施されていた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	関係法令・条例遵守につとめた。	B（良好）	仕様書、条例等の違反は見られず遵守されていた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	個人情報の含まれる書類等の取扱いに留意した。	B（良好）	個人情報の保管等取り扱いは適正に行われていた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	業務日誌は毎日記録、保管も適切だった。点検は毎月行った。	B（良好）	業務日誌、点検結果とも適正に整備、保管されていた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	大津市の所管課、所管係との連絡は密に行なえた。	B（良好）	随時連絡調整をとり事業運営がされていた。事業報告書等の提出も適正であった。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	マニュアルを整備し、避難訓練への参加、広場内での利用者とともに災害想定の周知なども行った。	B（良好）	緊急時の連絡体制が確保され、マニュアルは適切に整備されていた。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B （良好）	開館日の変更はなかった。台風等、気象事由の閉館もなかった。時間も遵守した。	B （良好）	開館日、開館時間は遵守されていた。 安全確保のため必要な対策が講じられていた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	利用者数は目標を上回った。	B （良好）	利用者数は妥当な水準であった。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B （良好）	利用者からの苦情はなく、アンケート結果に鑑みても適切に対応できていた。	B （良好）	利用者への対応は適切に行われていた。 設備、備品等は適切に提供されていた。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B （良好）	事業計画書に基づき、利用者ニーズを考えた取り組みができた。	B （良好）	事業計画書に則し、計画通り利用促進に向け、積極的に取り組んでいた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	自主事業への参加・利用も多く、子育てに悩んでいる市民への支援ができた。	B（良好）	感染症対策に配慮しつつ、利用者のニーズに沿った自主事業が実施されていた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B （良好）	毎日の業務の中での点検、毎月の安全点検等、定期的に維持管理ができるようにした。ただ、施設・設備が15年上経過して経年劣化もあり、次年度も注意が必要。	B （良好）	施設、設備の点検や清掃は定期的に行われていた。 備品の管理も適正に行われていた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B （良好）	毎月の通信やホームページにくわえて、Instagramでの発信を多くの利用者がみてくれた。	B （良好）	通信紙の発行やHPなどにより十分に情報発信がなされていた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	今年度は光熱費も前年度比で低く抑えることができた。	B （良好）	省資源等環境への配慮がなされていた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	車いす等での利用はなかったがそれができるように準備した。	B （良好）	ユニバーサルデザインへの配慮の意識を持ち、適切に対応されている。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B （良好）	「みんなの声」の投稿ボックスを設置し、利用者アンケートも実施した。	B （良好）	要望や意見の収集に努め、要望や意見に対し迅速に対応されていた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B （良好）	1月に行い、利用者のニーズを把握できた。	B （良好）	利用者アンケート調査の結果や要望等は職員間でも共有し、利用者ニーズの把握に努めていた。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B （良好）	紙帳簿・電子帳簿・預金口座の出納は適切であった。	B （良好）	専用口座を備え、帳簿や会計システムで適切に経理事務が行われていた。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	今年度は黒字決算で終えることができた。	B （良好）	収支状況は光熱水費等の高騰の影響があったが、妥当な範囲内である。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B （良好）	経年劣化の設備が多く、点検やちょっとした修理もあったが、金額のはる物はなく、こまめな点検が大切だとわかった。	B （良好）	経費節減に向けた取り組みがされ、保守点検の第三者委託も適切に実施されていた。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他の取組等（独自）	**その他** □ 努力事項として掲げた地域との連携を強化し、支援が必要な家庭に支援を届きやすくする取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B （良好）	ゆめっこやすこやか相談所などと連携し、支援が必要な家族に支援が届くようにした。	B （良好）	関係機関と連携し、課題のある親子に寄り添い、孤立を防ぐ取り組みが行なわれていた。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

主な成果（全体）

利用者数	目標	18,000 人	⇒	実績	25,050 人
講座開催数	目標	95 回	⇒	実績	98 回
講座参加人数	目標	1,300 人	⇒	実績	2,792 人

【指定管理者コメント】

利用者数はやはり多めで、講座やイベントへの参加も多く、キャンセル待ちも多かったので、参加枠を広げたりしたが、それでも希望者全員には入ってもらえなかった。利用者同士の交流も活発で、年度末には保育園や幼稚園へ行くのであまり参加できなくなって寂しいとの声もあり、利用者にはきらきら広場の存在が子育てにとって有意義であったと思ってもらえたようだ。

【施設所管課コメント】

利用促進に向け工夫され、利用者数、講座参加人数ともに当初の目標人数を上回っている。
講座の開催については、利用者のニーズもふまえ実施されていた。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
乳児講座	指定自主事業	2か月ごろから1歳ごろまでの赤ちゃんの発達に即したベビーマッサージ、ベビーリトミック等の講座	実施	
子育て講座（あそびの講座）	**指定自主事業**	様々な年齢の乳幼児対象の講座。簡単なおもちゃを作りそれを使った遊びの紹介など	実施	
リフレッシュ講座	**指定自主事業**	子どもと離れて保護者がリフレッシュする講座。体を動かす講座、大人だけでじっくりもの作りする講座を行った。	実施	
クッキング講座	**指定自主事業**	クッキング活動を通して親子の交流を図り、食育活動を行う。	実施	
おしゃべり場	**自主事業**	子育てに悩みを持つ保護者が集い、自分の気持ちを出し合うことで自己解決できるように支援する。	実施	
栄養相談	**自主事業**	管理栄養士が離乳食等、食に関する相談を受け、子育て不安を解消する。	実施	
製作の日	**自主事業**	手形や足型をとり、それをもとに季節の飾りを作る。	**実施**	
子育て助け隊	自主事業	日頃遊びに来ている広場で預かることで保護者のリフレッシュや子育て不安の軽減を図る。	実施	のべ192件・760時間

【指定管理者コメント】

自主事業への参加要望多くあり、実際に参加者数は多かった。各講座・イベントごとのアンケートでも喜びの声多くあった。特に「子育て助け隊」＝預かり保育への希望者多く、利用も多かったが、アンケート中に「利用料が高い」旨のコメントあり、改善したいが補助金がない状態で行っているので、なかなか困難ではあった。

【施設所管課コメント】

利用者のニーズも取り入れ事業を工夫されており、利用者の増加にもつながってる。
事業の満足度が高いことも評価する。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

きらきら広場に来てくれている子育て中の家族は、子育て不安も解消されていくことが多いが、きらきら広場を知らない、また、来るのが大変という保護者がまだまだいるようで、その支援を必要とする保護者への支援が届くように、地域との連携や関係各機関との連携がさらに必要であると感じている。

【施設所管課コメント】

子育てに不安や悩みを抱えてる保護者も多く、寄り添いが必要となっている。
来場された方への丁寧な聞き取りを行い、地域の関係機関とも連携し、孤立を防ぐ取り組みが行なわれている。
地域子育て拠点施設としての役割を果たしており、利用者も前年度に比べて増加している。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順：